

# 村上市環境基本計画

(平成 23 年度～令和 2 年度)

資料 2-1

# 令和元年度 進捗状況報告書

令和 2 年 11 月

新潟県村上市

## 1. 環境基本計画のめざすもの

---

村上市環境基本計画は、恵み豊かな自然との共生を図りながら、環境への負荷の少ない社会を築くため、基本理念を定め、市・市民・事業者の責務を明らかにし、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に策定されました。

この計画で目指すまちの姿は「山・川・海・豊かな自然に恵まれた歴史と伝統を継承するまち」とする環境像を掲げています。

## 2. 計画の期間

---

計画期間は、平成 23 年度から令和 2 年度までの 10 年間です。

また、期間の中間年度にあたる平成 27 年度には、これまでの 5 年間の状況変化を踏まえて、経済社会情勢の変化や新たな環境問題の解決に柔軟に対応するため、計画の中間見直しを行い、環境指標および環境施策の変更等の見直しを行いました。

## 3. 環境基本計画の具体的な展開

---

環境基本計画の実効性を高めるために、基本目標を個別に分類し、それに関する政策方針を定め、それぞれ具体的な環境施策を示しています。また、第 2 次村上市総合計画との整合性を考慮し、環境指標として目標値を設定しています。

そして、本計画の実効性を確保するため、毎年度、計画の進行管理を行い、環境指標および環境施策について点検・評価を行うこととします。

## 4. 令和元年度進捗状況報告

### (1) 環境指標の進捗状況

環境指標の進捗状況については、関係各課から実績値を求め、計画目標値や過去の実績等と比較しました。  
目標値は、平成27年度中間見直し後の数値となっています。

#### 【環境指標の進捗状況】

基本目標	個別目標	環境指標	現況値 (計画時)	目標値 (達成年度)	過去の実績								R1 実績	前年度 比較増減	
					H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30			
1 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然と親しみ自然と共生する	1 山々の緑と水を大切に	1 間伐等実施面積	484ha (平成20年度)	400ha (令和2年度)	638ha	277ha	194ha	251ha	293ha	222.95ha	212.22ha	162.19ha	183.7ha	21.51ha 増	↗
		2 防除区域内松くい虫被害面積	2.7ha (平成20年度)	1.9ha (令和2年度)	1.4ha	6.2ha	27.3ha	90.4ha	77.8ha	70.52ha	72.56ha	75.12ha	74.4ha	0.7ha 減	↗
3 美しい海岸を大切に	1	海岸の美しさに関する満足度 (アンケート調査)	55.4% (平成22年度)	75.1% (令和2年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	63.5%	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	63.0%	0.5%減 (平成27年度比)	→
4 野生の動植物を保護し、生息・生育環境を大切に	1	有害鳥獣による被害面積	230.9ha (平成21年度)	50.0ha (令和2年度)	34.2ha	193.8ha	27.8ha	28.5ha	118ha	122.7ha	29.0ha	13.48ha	11.33ha	2.15ha 減	↗
		2	身近に見かける動植物の豊かさに関する満足度(アンケート調査)	58.9% (平成22年度)	79.5% (令和2年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	60.1%	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	67.0%	6.9% 増 (平成27年度比)
5 農村の自然環境を大切に	1	エコファーマー認定農業者数	195人 (平成20年度)	新規認定 2人/年度 (令和2年度)	— (186人)	— (124人)	— (106人)	— (66人)	1人/年度 (42人)	1人/年度 (43人)	2人/年度 (45人)	0人/年度 (20人)	0人/年度 (16人)	4人 減	↘

基本目標	個別目標	環境指標	現況値 (計画時)	目標値 (達成年度)	過去の実績								R1 実績	前年度 比較増減		
					H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30				
2 清潔で安全・安心な生活の中で資源の循環を追求する	1 さわやかで気持ちの良い空気を守る(大気環境の保全)	1 光化学オキシダント注意報発令件数	0件 (平成22年度)	0件 (令和2年度)	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	発令なし	↗
		2 空気のきれいさに関する満足度(アンケート調査)	67.0% (平成22年度)	84.5% (令和2年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	66.2%	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	78.0%	11.8% 増 (平成27年度比)	↗	
	2 清らかなおいしい水を守る(水環境の保全)	1 BOD等の環境基準達成率	100% (平成21年度)	100% (令和2年度)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%維持	↗
		2 水のきれいさに関する満足度(アンケート調査)	60.4% (平成22年度)	80.2% (令和2年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	66.5%	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	72.0%	5.5% 増 (平成27年度比)	↗	
		3 上水道水質基準適合率	100% (平成21年度)	100% (令和2年度)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%維持	↗
		4 上水道普及率	96.3% (平成20年度)	98.5% (令和2年度)	95.5%	95.8%	96.2%	96.0%	96.3%	96.7%	96.9%	97.2%	97.5%	0.3% 増	↗	
		5 水洗化率(公共下水道)	52.0% (平成20年度)	69.8% (令和2年度)	62.5%	63.3%	64.4%	64.7%	66.5%	67.5%	69.2%	70.9%	72.3%	1.4% 増	↗	
		6 水洗化率(集落排水)	75.4% (平成20年度)	83.2% (令和2年度)	76.0%	77.8%	79.5%	80.6%	80.9%	82.0%	83.0%	84.2%	85.0%	0.8% 増	↗	
		7 水洗化率(合併処理浄化槽)	74.1% (平成20年度)	82.0% (令和2年度)	82.4%	76.1%	78.9%	79.2%	83.9%	84.4%	85.3%	85.7%	86.7%	1.0% 増	↗	
	3 土壌と地下水の安全を守る	1 新たな土壌・地下水汚染発生件数	0件 (平成22年度)	0件 (令和2年度)	0件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	発生なし	↗
	4 静かで落ち着いた環境を守る	1 市道改良率	68.0% (平成20年度)	71.3% (令和2年度)	69.3%	69.5%	69.6%	70.3%	70.4%	70.4%	70.4%	70.4%	70.5%	0.1% 増	↗	
		2 家のまわりの静けさに関する満足度(アンケート調査)	69.9% (平成22年度)	84.3% (令和2年度)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	69.3%	— (未実施)	— (未実施)	— (未実施)	82.0%	12.7% 増 (平成27年度比)	↗	
	5 安全・安心な生活を確保する	1 化学物質による環境汚染事故の発生件数	0件 (平成22年度)	0件 (令和2年度)	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	発生なし	↗
		2 浸水被害区域の解消率 [浸水被害解消区域面積]	5.8% [0.4ha] (平成20年度)	83.1% [6.0ha] (令和2年度)	9.9% [0.7ha]	18.3% [1.3ha]	38.0% [2.7ha]	49.3% [3.5ha]	54.9% [3.9ha]	70.4% [5.0ha]	76.1% [5.4ha]	80.3% [5.7ha]	85.9% [6.1ha]	5.6% 増 [0.4ha 増]	↗	

基本目標	個別目標	環境指標	現況値 (計画時)	目標値 (達成年度)	過去の実績								R1 実績	前年度 比較増減	
					H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30			
2 清潔で安全・安心な生活の中で資源の循環を追求する	6 ごみや汚れのない美しいまちを創造する	1 クリーン作戦や一斉清掃の実施回数	80回 (平成20年度)	112回 (令和2年度)	83回	91回	95回	100回	92回	115回	105回	83回	81回	2回 減	→
		2 地域の清潔さに関する満足度(アンケート調査)	28.5% (平成22年度)	64.2% (令和2年度)	(未実施)	(未実施)	(未実施)	(未実施)	37.6%	(未実施)	(未実施)	(未実施)	43.0%	5.4% 増 (平成27年度比)	↗
	7 資源を大切に作る循環型社会を作る	1 1人1日あたりのごみ排出量	795.9g/人・日 (平成20年度)	753.8g/人・日 (令和2年度)	760.9g/人・日	734.1g/人・日	732.9g/人・日	749.2g/人・日	794.2g/人・日	775.3g/人・日	773.8g/人・日	778.8g/人・日	769.8g/人・日	9g/人・日 減	↗
		2 1人1日あたりの家庭から排出されるごみの量	656.8g/人・日 (平成20年度)	550.4g/人・日 (令和2年度)	627.1g/人・日	604.1g/人・日	601.9g/人・日	620.7g/人・日	659.1g/人・日	628.1g/人・日	627.9g/人・日	621.8g/人・日	636.2g/人・日	14.4g/人・日 増	↘
		3 事業系ごみの総量	8,071.0t/年 (平成20年度)	5,193.0t/年 (令和2年度)	7,747t/年	7,592t/年	7,755t/年	7,472t/年	7,676t/年	7,454t/年	7,451t/年	7,339t/年	7,361t/年	22t/年 増	↘
		4 リサイクル率	14.4% (平成20年度)	28.0% (令和2年度)	13.8%	14.0%	14.0%	13.4%	20.8%	22.3%	22.1%	22.4%	21.0%	1.4% 減	↘
5 最終処分量	2,610.0t/年 (平成20年度)	659.0t/年 (令和2年度)	2,561.0t/年	2,424.0t/年	2,407.0t/年	2,514.0t/年	725.0t/年	676.0t/年	709.0t/年	622.0t/年	802t/年	180t/年 増	↘		
3 歴史と伝統のある地域社会の中で快適な暮らしを創造する	1 歴史と伝統を継承し、新たな文化を創造する	1 町並みの美しさに関する満足度(アンケート調査)	50.2% (平成22年度)	73.8% (令和2年度)	(未実施)	(未実施)	(未実施)	(未実施)	51.8%	(未実施)	(未実施)	(未実施)	52.0%	0.2% 増 (平成27年度比)	→
	2 快適な暮らしと生活空間を創造する	1 市民一人あたりの都市公園面積	21.85㎡ (平成22年度)	24.37㎡ (令和2年度)	21.90㎡	22.17㎡	22.81㎡	23.14㎡	23.53㎡	23.90㎡	24.37㎡	24.86㎡	25.11㎡	0.25㎡ 増	↗
4 地域から世界を考え地球環境の保全に取り組む	1 地球温暖化対策を推進する	1 温室効果ガスの年間総排出量	463.2千t-CO2 (平成2年)	435.4千t-CO2 (令和2年)	562.0千t-CO2	589.0千t-CO2	577.0千t-CO2	547.0千t-CO2	541.0千t-CO2	514.3千t-CO2	469.9千t-CO2	(未確定)	469.9千t-CO2 (平成29年度)	44.4千t-CO2 減	↗
		2 公用車の低公害車導入台数	53台 (平成21年度)	150台 (令和2年度)	78台	86台	96台	102台	109台	118台	135台	153台	152台	1台 減	→
5 環境の保全に市民・事業者・行政が一体となって取り組む	2 環境教育・環境学習の実施	1 「こどもエコクラブ」の登録件数	1件 (平成22年度)	10件 (令和2年度)	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	増減なし	→
		2 クラインガルテン利用者数	0人 (平成20年度)	延べ600人 (令和2年度)	延べ533人	延べ465人	延べ530人	延べ572人	延べ455人	延べ350人	延べ350人	延べ517人	延べ639人	122人 増	↗

## (2) 環境施策

令和元年度の環境施策の達成状況について、各課に点検・評価を求めました。

評価方法は平成30年度と同様に「A」から「E」までの5段階評価で行い、基本目標別に環境施策の評価を集計しました。

平成27年度中間見直しにより、環境施策合計は当初の147施策から149施策に変更しています。

※ただし昨年7月の豪雨、9月の大型台風などやむ終えない事情で実施できなかった施策は未評価とし、

令和元年度の評価は141施策について行いました。

### 【環境施策の評価集計】

基本目標	R1 評価集計						【参考】H30 評価集計					
	A	B	C	D	E	合計	A	B	C	D	E	合計
1 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然と親しみ自然と共生する	13	7	15	3	3	41	12	7	19	3	2	43
2 清潔で安全・安心な生活の中で資源の循環を追及する	25	12	9	2	1	49	24	11	10	3	1	49
3 歴史と伝統のある地域社会の中で快適な暮らしを創造する	2	7	3	1	0	13	4	4	4	1	0	13
4 地域から世界を考え地球環境の保全に取り組む	7	4	1	1	1	14	8	7	1	1	1	18
5 環境の保全に市民・事業者・行政が一体となって取り組む	10	2	9	2	1	24	7	6	7	3	3	26
合 計	57	32	37	9	6	141	55	35	41	11	7	149
	40.4%	22.7%	26.2%	6.4%	4.3%	100.0%	36.9%	23.5%	27.5%	7.4%	4.7%	100.0%
	AB計	63.1%	CD計	32.6%			AB計	60.4%	CD計	34.9%		

### 評価基準

「A」達成(十分な成果が得られた)

「B」順調である(前年度に比べ、事業の実施成果が向上した)

「C」概ね順調である(十分な成果とは言えないが、前年度に比べ事業実施の充実が認められる)

「D」前年度と同水準が維持されている(十分な成果とは言えないが、前年度に比べ事業の実施水準が維持されている)

「E」順調でない(事業が実施されなかった。もしくは前年度に比べ実施成果または実施内容が後退した)

※昨年7月の豪雨災害、9月の大型台風などにより実施できなかった施策は未評価としたため、今年後の評価は141施策となった。